
改訂版精霊と呪いと左手

一喜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

改訂版精霊と呪いと左手

【Nコード】

N1653Z

【作者名】

一喜

【あらすじ】

高校受験に見事失敗した黒木竜弥は、一つの高校へと入学させられることとなる。しかし、その高校は普通とは違く、なんとトレジャ―ハンターを教育する高校だった！？

ブログ（前書き）

初心者です。

どうかよろしく願います。

忙しいので更新は遅れるかもしれませんができるだけなら週一で更新していきたいと思います

プロローグ

何かが変えられると思った

自分の手で変えることができる

そう、確かに黒木竜弥は思ったのだ。

ゴォツと凄まじい風が竜弥の前髪を揺らす。はるか前方には直径200メートルほどの竜巻ができて始めていた。しかもただの竜巻ではない。

「黒の竜巻は呪いの怨念の渦なり」

透き通るような声が竜弥の鼓膜を揺らす。それは優しい精霊の声。

この世界に住む、風の精霊の声。

黒い竜巻がこちらに近づいてくる。そのあとには瓦礫しか残っていない。もう、この神殿は長くは持たない。

凄まじい風圧が周りの壁や柱に亀裂を刻んでいく。辺りが崩れ去る中、竜弥は動こうとはしなかった。

代わりに、竜弥は拳を握った左手を黒い竜巻の方に向ける。その拳には小さな黒い古刀が握られていた。

「契約を、自由、を汝の元に」

竜弥は小さな呪文を唱えた。

すると、目の前を渦巻いていた竜巻が竜弥の握る古刀に吸い込まれ始めた。唸り声のような轟音と共に、竜巻は古刀に吸い込まれていき、形を螺旋状に変える。そして、竜弥の左手に螺旋が刻まれていく。

「契約を、自由を、汝の元に」

「契約を、代償は、『持ち人』の」

「これは である。決して、は、」

かすれた声がどこからともなく、聞こえてくる。それに伴い竜弥の手に刻まれる螺旋が、より深く刻まれる。

鮮血が舞う、もう、竜弥の左手は肩の部分まで螺旋が刻まれていた。

「契約を、代償を払い、汝に自由と肉体を」

「契約の代償は、『持ち人』の命。」

「これは呪いである。決して、逃げることは、許されない」

声が、今度ははつきりと聞こえる。

そう、これは代償。

これは呪い。

「上等だ」

竜弥は笑う。

螺旋を刻まれながら。

呪われながら。

.....

五月、春の桜が散り、もうすぐ来る梅雨のじめじめ感にどう対処しようかと人々が真剣に悩み始めるその時期に、黒木竜弥はそこにいた。

今、彼がいるのはとある学校の通学路。レンガー一つ一つを丁寧に並べ、細かく舗装された道を囲むように大きな銅像が並べてある。なんとまあ、威圧的な通学路だ。

（全く、我ながらすごい学校に入ってしまったもんだな）

そんな威圧的な通学路を歩きながら、竜弥は溜息をつく。別にこの通学路がどうこの話ではない。問題はその奥にあるものだ。

馬鹿でかい、西洋の城。それが竜弥に溜息をつかせているものだった。それは通学路と同じく完璧なまでのレンガ造りで幻想的な雰囲気を感じに与えている。

それだけならまだいい、ただ、残念なのはそれが竜弥の通う、日本の国立高等学校ということだけだ。

「はー、まさかここに俺が補欠合格したなんて誰も思えないよな」

受け入れられない現実に竜弥はさらに溜息をつく。そういえば溜息をつくと幸せが逃げるといふがそれなら自分はどうかと思いい、それを考えただけで溜息をつくだけだと思い竜弥は思考を中断させる。

日本国立高等学校、「トレジャー・メイ・ライハル、ハンター」教育機関。略して「トレジャー」

それが、竜弥の通うことになった学校の名。

日本唯一の『トレジャーハンター』の専門学校。

そんな馬鹿な、と竜弥は思う。

（いや、だってトレジャーハンターですよ！あのよく、RPGのゲームで出てくるその場稼ぎで生活している輩ですよ！　って、そもそも今の世界に宝なんてあるのかよ！）

と、竜弥は心の中で思いつきり突っ込んでみるが、現実は変わりはない。たとえ目の前の出来事がどんなに常識からかけ離れていてもそれは結局は現実なのだ。

仕方なく、竜弥は溜息をつき、常識離れた通学路を歩き出す。

五月の生暖かい風が彼の髪を揺らしていた。

一つの物語が始まろうとしていた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1653z/>

改訂版精霊と呪いと左手

2011年12月5日22時52分発行